

さいたま市水道事業長期構想（2021－2030）

概要版

1. 策定の目的と位置付け

- 将来の人口減少、大規模災害の発生、水道施設の更新需要の高まり、技術継承等への対応が水道事業の重要な課題となっています。
- これらの課題や社会状況の変化に対応し、50年後、100年後を見据えた安全で強靱な水道を持続していくため、今後の水道事業の基本計画として、「さいたま市水道事業長期構想（2021－2030）」（計画期間：10年）を策定するものです。
- 水道事業長期構想と事業運営方針である中期経営計画を合わせて、経営戦略として位置付けます。

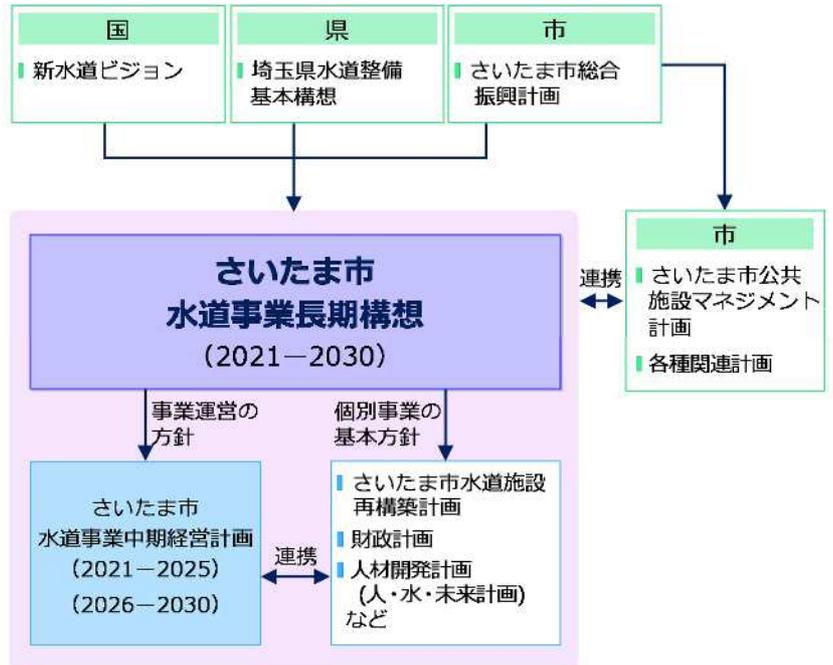


図1 長期構想の位置付け

2. 水道事業の概要

- 本市の水道は昭和 12（1937）年に給水を開始し、現在は全市域に水道が普及しています。
- 水道施設として、地下水のみを水源とする小規模な浄水場 7 か所と、主に県営水道からの受水を水源とする比較的規模の大きい配水場 13 か所、管路約 3,649km を所有しています。（平成 30 年度末時点）

表1 給水の状況

| 項目 | 年度 | |
|-----------|-------------------|-------------|
| | 年度 | R 1 (2019) |
| 給水人口 | 人 | 1,317,180 |
| 普及率 | % | 99.9 |
| 年間総給水量 | m ³ | 132,432,520 |
| 一日平均給水量 | m ³ /日 | 361,837 |
| 一日最大給水量 | m ³ /日 | 387,390 |
| 一人一日平均給水量 | L/人/日 | 275 |
| 一人一日最大給水量 | L/人/日 | 294 |

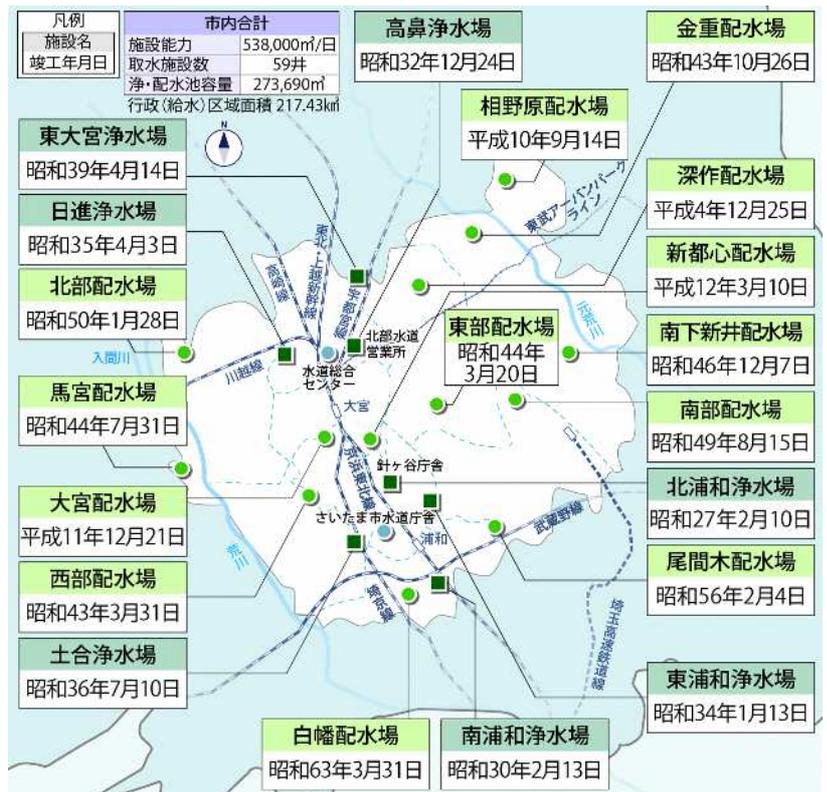


図2 施設位置図

3. 水道事業の現状と今後の課題

▶ 水需要

現状

- 人口は令和 12 (2030)年頃にピークを迎え、その後は減少に転じる見込み
- 過去 10 年間で人口は増加しているものの、一日最大給水量、一日平均給水量は減少傾向

課題

- 将来の人口減少に伴う水需要の減少を見据えた事業運営

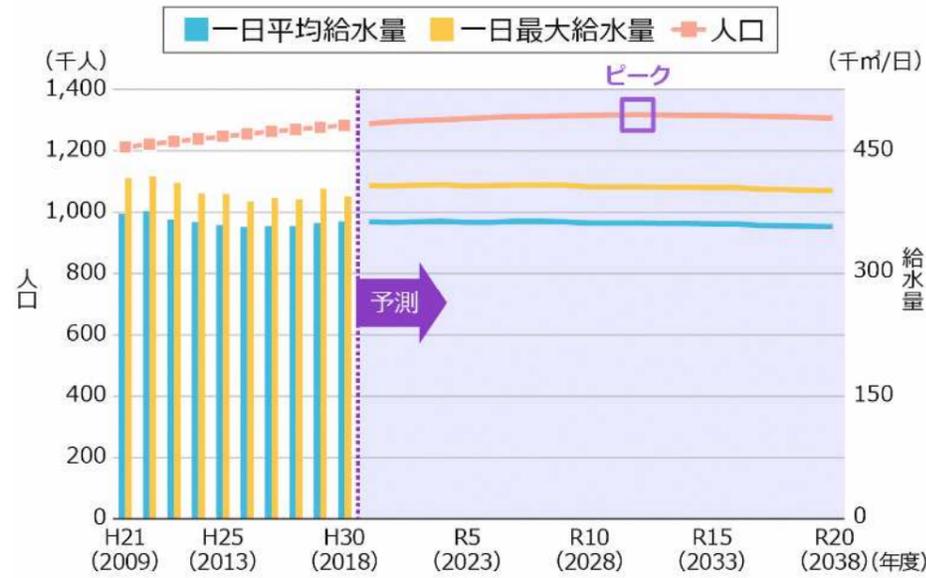


図3 人口及び給水量の推移と予測（平成 21 年度～令和 20 年度）

○各項目における課題

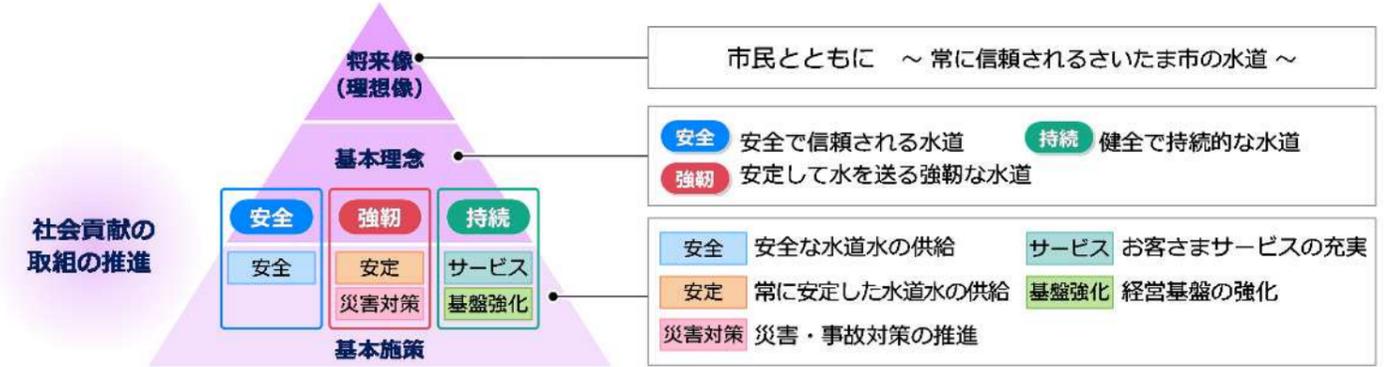
| 項目 | 課題 |
|---------|---|
| 水源・水質 | 水源 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した井戸の改良・更新 ・水質基準値や水質管理目標設定項目の目標値に照らした原水の水質監視、浄水機能の確保 ・自己水源の適切な利用規模の検討 |
| | 水質管理 <ul style="list-style-type: none"> ・水安全計画に基づく水源から給水栓までの水質管理体制の強化 ・貯水槽水道の水質管理への継続的な取組 |
| 水道施設 | 浄・配水場 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴う更新需要の増加への対応 ・水道施設の効率的な配置や適切な施設能力・規模へ更新を行う水道施設の再構築の推進 |
| | 管路 <ul style="list-style-type: none"> ・更新需要の増大を踏まえた管路の老朽化対策の推進及びダウンサイジングの検討 ・配水本管（口径 400 mm 以上）の更新 |
| 災害対策 | 耐震化対策 <ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の耐震化の推進 |
| | 危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な災害に対応した応急活動体制の構築 ・被災時の受援体制整備 ・訓練等を通じた他団体、事業者、市民との継続的協力関係の構築 |
| サービスと連携 | 受付・窓口 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT の活用を通じた更なる利便性の向上 |
| | 広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT を活用した広報・広聴活動の推進 ・給水装置の管理区分についての継続的啓発 ・次世代への広報活動の継続 |
| 健全経営 | 財政 <ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の効率的な配置や適切な施設能力・規模へ更新を行う水道施設の再構築の推進（再掲） ・様々な手法による事業効率化の検討 ・中・長期的な財政収支見通しを踏まえた料金水準、料金体系の検証 |
| | 組織・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・民間活力等による業務効率化の推進と技術や技能の蓄積・継承の両立 |

4. 将来像と基本理念

将来像 市民とともに ～ 常に信頼されるさいたま市の水道 ～

- 50 年後、100 年後を見据えて、安全・安心な水道を安定的に供給していくため、これからも常に信頼される水道事業を目指します。
- 基本的な考え方を明確にするため、3つの基本理念を定めます。また、本市が抱える課題に対応した5つの基本施策を定め、計画的かつ効率的な事業運営を実施していきます。

さいたま市水道事業長期構想（2021 - 2030）



5. 構想を実現するための施策

| 基本理念 | 基本施策 | 推進する主な施策 | 事業名 |
|---------------------|---------------------|------------------------|--|
| 安全で信頼される水道 | 安全 安全な水道水の供給 | 清浄な水源の確保・保全 | ・地下水源整備事業 |
| | | 水質管理の徹底 | ・水質管理体制の強化 ・貯水槽水道管理啓発事業 ・直結給水普及促進事業 ・配水管内水質劣化防止事業 |
| 安定して水を送る強靱な水道 | 安定 常に安定した水道水の供給 | 安定した水量の確保 | ・漏水調査・修繕事業 ・配水管整備事業 ・拠点施設整備事業 ・老朽管更新事業 ・地下水源整備事業（再掲） |
| | | 水道施設の耐震化 | ・水道施設耐震化事業 |
| 健全で持続的な水道 | サービス お客さまサービスの充実 | 危機管理対策の推進 | ・応急活動体制の構築 ・水道局危機対応集整備事業 ・災害時における相互連携・協力の推進 |
| | | 質の高いサービス | ・お客さまサービスの向上 |
| サービス お客さまサービスの充実 | 基盤強化 経営基盤の強化 | 積極的な情報提供の拡大 | ・情報提供推進事業 ・広報・広聴推進事業 |
| | | 適正な財政とバランスの取れた施設設備 | ・水道施設の再構築の推進 |
| サービス お客さまサービスの充実 | 基盤強化 経営基盤の強化 | 効率的な組織体制及び職員 の技術力向上 | ・効率的な組織の構築及び人材育成 ・民間活力の活用への検討 |

社会貢献の取組の推進
～SDG s 達成への貢献～

- 国際協力推進事業（ラオスなど開発途上国への水道分野の国際協力）
- 省エネルギー対策事業（環境保全・環境負荷低減に向けた取組）
- 社会福祉就労支援事業（古い水道メーターの分解などの再資源化を社会福祉就労支援施設へ委託）

6. 投資・財政運営の基本的な考え方

▶ 投資について

施設の老朽化へ適切に対応しながら、将来的な水需要の減少に合わせた施設能力の見直し、統廃合、長寿命化等により、本市における水道施設の最適化を目指す水道施設の再構築を推進します。

- 施設・設備の廃止・統合、合理化（ダウンサイジング、スペックダウン）
 - ・将来の水需要の減少やバックアップ能力も考慮し、浄・配水場の統廃合を進めます。また、ポンプ設備や管路等についても、更新に併せて適正な規模へ見直します。
- 施設・設備の長寿命化等の投資の平準化
 - ・水道施設は適切な維持管理を行い、長寿命化を図ります。施設の更新においては、安全性を確保した上で、施設機能の劣化状況や更新実績等を基に長寿命化を図り、更新費用の平準化に努めます。

▶ 財政運営について

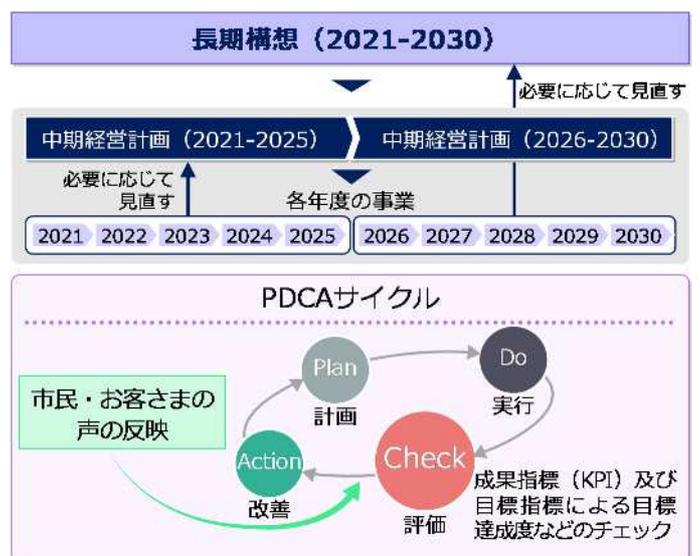
中・長期的な財政計画などにより、経営基盤の強化を進め、健全で持続可能な財政運営を進めていきます。また、民間活力や ICT の活用等、効率的な事業運営に取り組みます。

- 水道料金について
 - ・水道施設の更新需要の高まりにより、施設整備に必要な経費は増大していきます。こうした中、経営努力による支出の抑制や水道施設の再構築の推進により、水道料金は現行の料金体系・料金水準を可能な限り維持していくことを基本方針としつつ、将来の不確定な状況変化などに対応できるよう、中期経営計画の見直しの中で、財政収支計画の更新等を通して、料金体系・料金水準の検証を行っていきます。
- 企業債について
 - ・水道施設の更新需要が大幅に増大する中、強靱な水道を構築するうえで、企業債は必要不可欠な財源となっています。一方、人口減少に転じた以降の世代に対する負担を考慮する必要もあることから、アセットマネジメントや内部留保資金の活用により、バランスのとれた財源調達を行っていきます。

7. 長期構想のフォローアップ

- 将来像を実現するため、事業の推進状況を成果指標（KPI）により毎年評価します。
- 必要に応じて、適宜計画の見直しを行い、持続可能な水道事業に取り組みます。

| | 成果指標(KPI) | 目標 |
|----------------|-----------|-------------------------------|
| ① 水道施設の整備に係る指標 | 水道管路の耐震化率 | 年 1.1%増 令和 12 年度 61.8 % |
| ② 事業経営に係る指標 | 経常収支比率 | 110 %以上 |



さいたま市水道局業務部経営企画課

〒330-8532

さいたま市浦和区常盤 6 丁目 14 番 16 号

TEL : 048-714-3185 / FAX : 048-832-7775

メールアドレス : keiei-kikaku@city.saitama.lg.jp